

# 福知山市中心市街地活性化基本計画

平成28年度～平成32年度

歴史と文化が育んだ豊かな暮らしと賑わい交流のまちづくり  
～城下町福知山の個性を現代的にアレンジし、新たな価値を創造する～





# 4つの主要プロジェクトの柱を立てています

## 主要事業1

### 大規模歴史建築活用事業（平成28～31年度）



広小路リニューアルの波及が、通り沿いや近くの大規模未利用施設の活用を促しており、新しい人の流れを生み出しつつありますが、まだ大きな力にはなっていません。一方では文化財級の大きな歴史建築が複数未利用まま存在することから、それらを活用することにより、城下町の風情を生かす賑わいのエリア形成をめざします。

## 主要事業3

### 厚生会館改修事業（平成28～32年度）



本市の文化振興の拠点である厚生会館の機能を社会環境に即して改善し、市民の利便性の向上と利用促進をめざします。舞台周辺の整備、可動式観客席・授乳室の設置、洋式トイレの増設などの改修を予定しています。

## 主要事業2

### 駅正面リニューアル事業（平成28～32年度）



JR福知山駅周辺の土地区画整理事業、駅前広場整備、市民交流プラザ整備が進んだ成果を街なかにつなげる意味では、もっとも駅に近く効果が高い場所にあり、広小路リニューアルの流れを引き継ぐために駅正面通りにおいて未利用の空間の活用、集客施設づくり等を進めます。

## 主要事業4

### 町家活用ゲストハウス施設整備事業（平成28年度）



インバウンド観光の拠点として、安価で泊まれる町家を活用したゲストハウスを整備・運営する事業。近年増加している外国人観光客も見据え、フレンドリーな接客で、地元の日常のライフスタイルを体験することができる宿泊施設を整備・運営します。

## 前回計画の課題を踏まえ、さらに新たな発展を目指します

福知山中心市街地活性化の前回計画は、平成23年3月に京都府内で初めて国の認定を受け、福知山城懇意の広場「ゆらのガーデン」をはじめ「街なみ環境整備事業」、「広小路リニューアル事業」、「市民交流プラザふくちやま」等を整備するとともに「広小路マルシェ」等、城下町ならではの地域資源を活かした街なみづくりやおもてなし事業を市民、民間事業者、行政等が一体となった協働事業として取り組んできました。

その成果として、まちなかに交流拠点を生み出すことができ、広域からの来街者を迎えた新たな賑わいができつつあります。

さらには公民協働の活性化まちづくりモデルが具現化されたことにより、駅正面商店街では、商店街と地元有志が出資する会社が設立されるなど、民間の投資意欲が向上するといった新たな動きが広がっています。加えて、インバウンド等新しい動向もあり、中心市街地と全市をつなぐ気運が高まりつつあります。こうした背景を受けて、第2期に取り組むものです。

### 課題

わざわざ訪ねたい魅力施設や店舗が集積していない



新たな魅力スポットを生み出す

地域の歴史ストックが活かしきれていない



歴史や文化を生かした城下町福知山の暮らしの質を高める

お城・広小路・駅の三拠点が独立し回遊性が生まれていない



三拠点を繋ぐ導線上で事業を行い回遊性を高める

若者が福知山の中心市街地で働く場が少ない



雇用づくり・起業支援による働く場の提供

子どもから高齢者まで住みやすい居住環境が整っていない



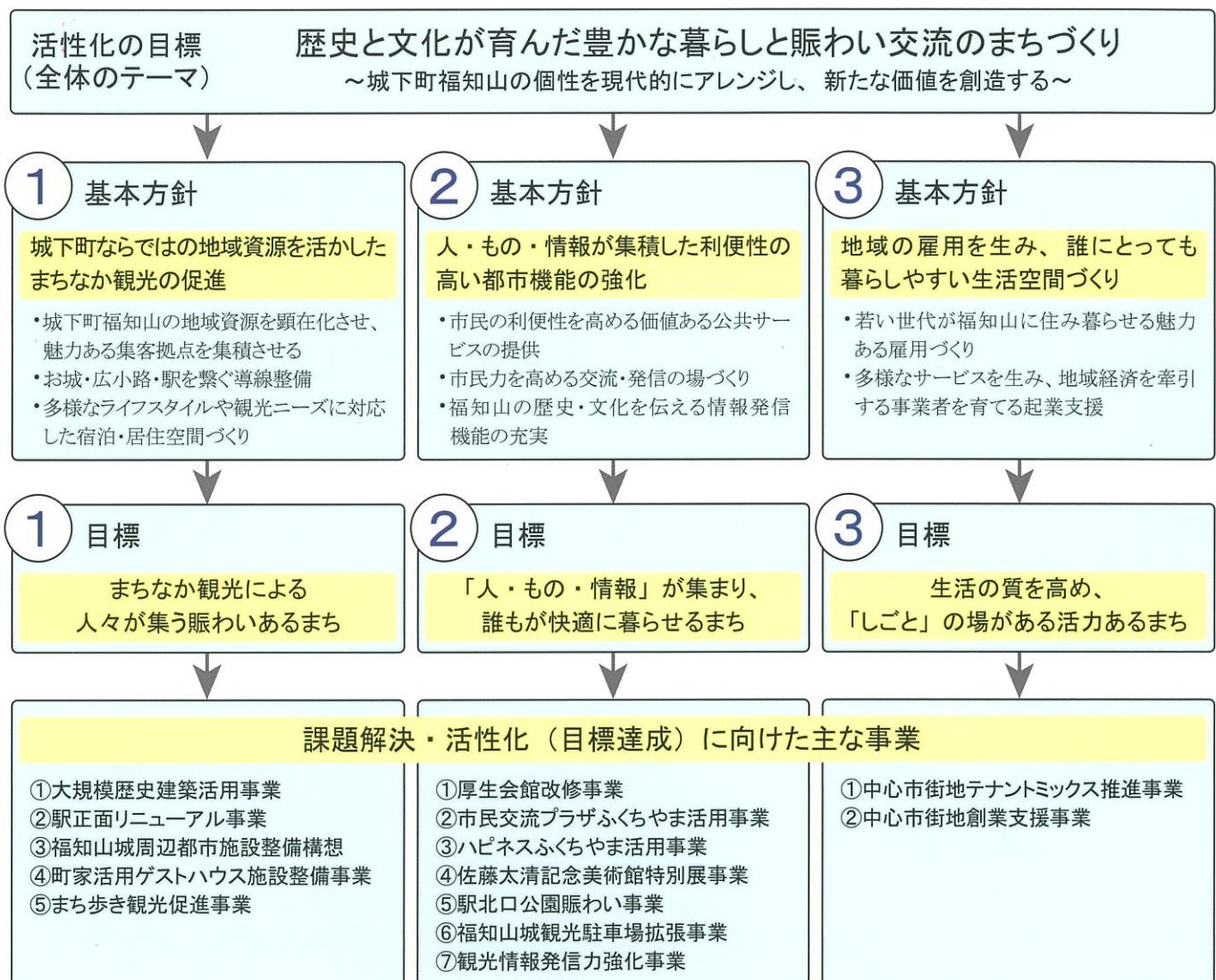
都市機能の利便性向上を図る

交通の要衝地の利点を活かしきれていない



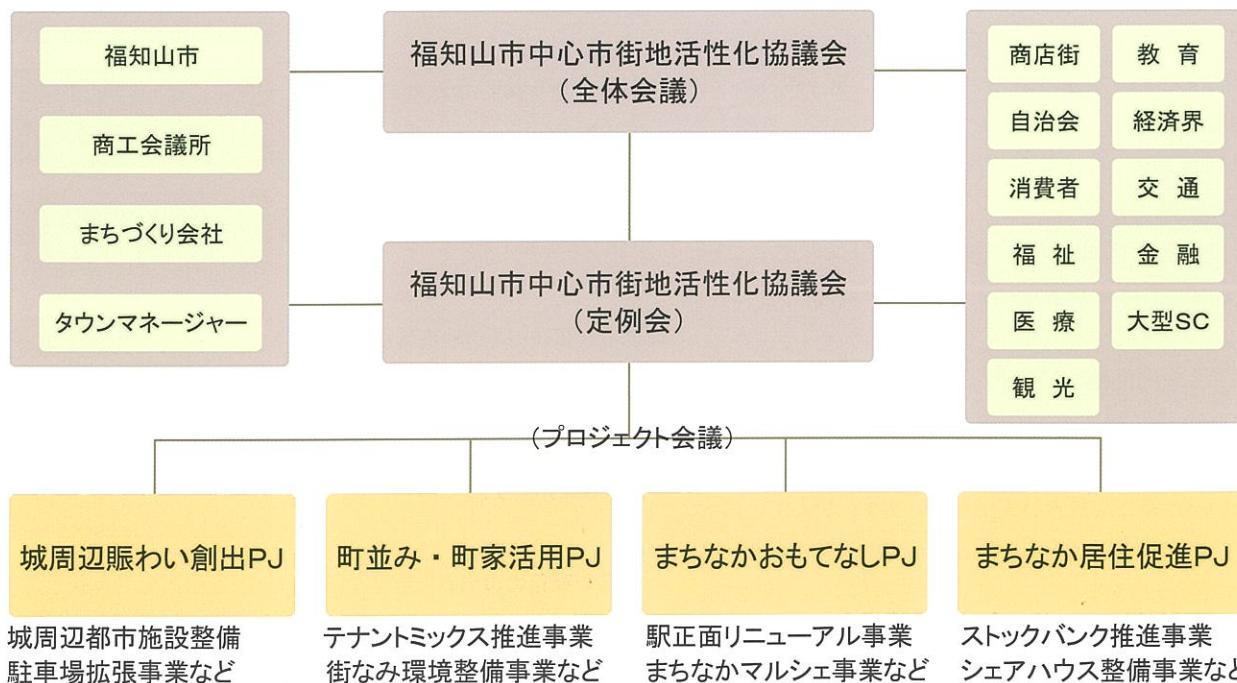
北近畿市町との連携を深め交流人口を増やす

# 中心市街地活性化の全体像



## 市民・民間事業者・行政が協働して活性化を実現します

福知山商工会議所と福知山まちづくり株式会社が、福知山市とともに連携して活性化の推進母体となる協議会を設置しています。具体的な事業計画の立案、実施にあたっては、協議会の中に各テーマ毎のプロジェクト会議や部会等を設けて協議をしながら進めます。



# 中心市街地活性化は福知山市全域の活性化につながります



まちなかに来街者を呼び込むことで、市内各地への観光・買い物・飲食などのへのきっかけを作ります。



まちなかに地場産品を扱うお店が増えることで、地元の食材などの消費拡大につながります。

外国人観光客を取り込むことで、各地の歴史・文化、特産品など、まちなかから新たな客層へと情報発信します。



〔お問合せ〕 福知山市農林商工部商工振興課（京都府福知山市字内記 13 番地の 1）

TEL 0773-24-7075 FAX 0773-23-6537 E-mail syoukou@city.fukuchiyama.lg.jp